

委員会の構成

委員会は議案等を専門的に詳しく審査し、本会議での意思決定を補助する機関です。委員会には常時設置されている常任委員会と必要に応じ設置される特別委員会、そして議会運営に関する事項について審査、決定を行う議会運営委員会があります。全議員はそれぞれ2つの常任委員会に所属し、その中の一つは予算決算委員会となります。

(各委員会名簿は正副委員長を除き、議席番号順に掲載)

常任委員会	予算決算委員会(定数48) 予算及びこれに関連する事項 決算及びこれに関連する事項	(正) 澤田 昌作 (副) 園川 良二	正副委員長を除く全議員
	総務委員会(定数8) 政策局、総務局、財政局、都市政策研究所、会計総室、消防局、選挙管理委員会、監査委員、人事委員会、議会事務局の所管に属する事項、他の常任委員会の所管に属しない事項	(正) 高本 一臣 (副) 西岡 誠也	上田 芳裕 三森 至加 満永 寿博 日隈 忍 原 亨 田中 誠一
	教育市民委員会(定数8) 市民局、教育委員会の所管に属する事項	(正) 大石 浩文 (副) 田中 敦朗	山本 浩之 田上 辰也 紫垣 正仁 荒川 慎太郎 浜田 大介 上野 美恵子
	厚生委員会(定数8) 健康福祉局、病院局の所管に属する事項	(正) 井本 正広 (副) 村上 博	齊藤 博 高瀬 千鶴子 澤田 昌作 平江 透 那須 円 藤山 英美
	環境水道委員会(定数8) 環境局、上下水道局の所管に属する事項	(正) 福永 洋一 (副) 小佐井賀瑞宜	古川 智子 北川 哉 三島 良之 島津 哲也 吉田 健一 田尻 善裕
	経済委員会(定数8) 経済観光局、農水局、農業委員会の所管に属する事項	(正) 大高 澄雄 (副) 園川 良二	倉重 徹 緒方 夕佳 津田 征士郎 吉村 健治 寺本 義勝 白河部 貞志
	都市整備委員会(定数8) 都市建設局、交通局の所管に属する事項	(正) 光永 邦保 (副) 藤永 弘	伊藤 和仁 山内 勝志 坂田 誠二 田島 幸治 原口 亮志 落水 清弘

※財政局、会計総室、監査委員、病院局、上下水道局、交通局の所管事項については、予算決算委員会の所管に属する事項を除く。

特別委員会	庁舎整備に関する特別委員会(定数12) 本庁舎に求められる機能と在り方及びこれに係る諸問題に関する調査	(正) 澤田 昌作 (副) 浜田 大介	日隈 忍 寺本 義勝 落水 清弘 高本 一臣 原口 亮志 上野 美恵子 西岡 誠也 村上 誠二 藤永 弘
	大都市税財政制度・都市問題等特別委員会(定数12) 大都市における税財政制度及び都市問題に関する調査	(正) 満永 寿博 (副) 田上 辰也	伊藤 和仁 井本 正広 白河部 貞志 田島 幸治 原大石 浩文 田中 誠一 大福永 澄雄 三島 良之

議会運営委員会	議会運営委員会(定数13)	(正) 紫垣 正仁 (副) 西岡 誠也	光永 邦保 小佐井賀瑞宜 三島 良之 福永 洋一 原 亨 津田 征士郎 井本 正広 田中 敦朗 藤山 英美 藤永 弘 澤田 昌作
---------	----------------------	------------------------	---

第1回定例会より 会期19日間 2月18日～3月8日

代表質問

第1回定例会において3会派が代表質問を行いました。主な質問内容は次のとおりです。なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

自民党	 津田 征士郎 議員	総合交通体系の構築について 質問 慢性的な交通渋滞への対策、災害時の迂回路、さらには市内全域の均衡ある発展を考慮しても、まずは道路網の整備を優先すべきと考える。財政上の制約がある中、市電延伸が計画されているが、政策の優先順位を問う。 答弁 過度に自家用車に依存した交通体系を見直し、公共交通と自動車交通を最適化した交通体系構築が必要。骨幹幹線道路網形成と併せ、市電延伸をはじめとした基幹公共交通軸の強化等を行い、総合交通体系を構築していく。	その他の質問項目 <ul style="list-style-type: none"> ● 財政運営について ● 公共施設等総合管理計画について ● 農政について ● 学校における働き方改革について
	市民連合	 上田 芳裕 議員	市電の延伸効果を高める取り組みについて 質問 検討されている市電の延伸は、沿線住民等のニーズが高いことから進められるべきであるが、100億円を超える事業費からは、交通結節の拠点性向上を図る等、より延伸効果を高めるべきであるが、どう取り組むのか。 答弁 パークアンドライド(※1)やサイクルアンドライド(※2)促進、交通結節点である健軍町電停周辺での市電とバスの結節強化、新設電停等と周辺地域を結ぶコミュニティ交通等の導入といった取り組みを検討し、延伸効果を最大化していく。
公明党		 藤岡 照代 議員	「我が事・丸ごと」体制で地域共生社会実現を 質問 地域社会を取り巻く環境の変化により、人々が安心して暮らせる地域福祉を推進することが重要である。地域で活動する各種団体が連携を強化し、「我が事・丸ごと」受け止める体制づくりが必要だが、どのようにしていくのか。 答弁 地域福祉のニーズや課題が多様化し、問題が複合するケースは包括的に相談を受け止めることが必要。そのため、まちづくりセンターや市社協、ささえりあ等が連携し、地域団体が行う住民主体の活動を支援していく体制を構築する。



パークアンドライド(※1) …マイカーを最寄りの駅等に近しい駐車場に駐車(パーク)して、鉄道やバス等、公共交通機関に乗り換えて(ライド)行く方法のこと。
 サイクルアンドライド(※2) …自転車(※2)を最寄りの駅等に近しい駐輪場に駐車して、鉄道やバス等、公共交通機関に乗り換えて(ライド)行く方法のこと。